

## 2020 年度 学校関係者評価報告書

学校法人湘中央学園  
浦添看護学校  
学校関係者評価委員会

学校法人湘中央学園浦添看護学校学校関係者評価委員会は「2020 年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて保護者、卒業生、業界関係者評価を実施しましたので、下記の通り報告します。

### 1. 教育理念・目的・育成人材像

○教育理念・目標及び人材育成像を明確にすることはこれまで同様に取り組んでいる。学内では来る 2022 年実施の新カリキュラムを検討していることから、教職員全員での教育理念・目標及び育てたい人材像の再確認はできていると思う。しかし、18 才人口の減少や大学志向の強い受験生が多いことから当校を選択してもらうための教育の特徴を明確にすることの取り組みは今後の課題として継続してほしい。

これまで以上に教員が教育力をつけること、地域にある関係機関との連携を視野に教育を展開することに邁進していただきたい。

### 2. 学校運営

○学校経営に関しては、年度末に湘中央学園本部から示された「長期目標」「中期目標」「短期目標」を踏まえ、学校としての事業計画を策定し、理事会、当校教職員会議及び教務会で共通理解をし、各自の業務目標や学内委員会活動に反映させている。

2020 年度の学校運営においては、2022 年度実施の新カリキュラム検討や新型コロナウイルス感染拡大への対応が大きかったと思う。頻発する課題に集中して取り組めるよう、カリキュラム検討に係る「ワーキングチーム」や ICT に係る「オンラインチーム」を立ち上げたのは学校運営をスムーズに実施できたこととして評価したい。

特にオンラインチームにおいては、今後の学校運営に係る ICT 活用が様々な形でできるよう、尚一層の役割機能の充実を期待する。

### 3. 教育活動

○学内委員会として教育委員会が設置され、毎年度のカリキュラムの振り返りと次年度に向けての検討が行われている。今年度は 2022 年のカリキュラム改正に向けての教育活動を主として行っている。

教育実践活動においては、2022 年度実施の新カリキュラム検討に関連させていくことで教員は目的意識を持って教育展開ができたと思う。しかし、臨地実習においては、学内でのシミュレーション実習になることが多かったが、学生の授業評価は肯定的な評価であった。そのことは、コロナ禍のなかでの実習展開に少なからず不安を抱えていた教員

の不安軽減につながった。又、その評価は、新型コロナウイルス感染拡大防止のみならず、新たな視点での実習展開のあり方を示してくれたのではないかと思う。

また、教育活動に係る教職員の確保については毎年のように教員確保の困難さとして提示している。他校とも情報交換をしながら適切な確保の方法についての検討を継続していくことが必要である。

#### 4. 学修成果

○コロナ禍で就職活動や国家試験対策等、当初計画の変更を余儀なくされたものも多くあったが、進学、就職については、可能な限り学生が不利益を被ることがないようにしている。特に3年生の就職活動については例年通り、学生からの申し出により随時キャリア支援委員会でも対応ができています。就職内定状況も例年通りほぼ全学生が3月末時点で就職先を決めている。助産学科への進学及び4年制大学への編入も継続的にあり、学生のキャリア支援も順調に行われていると判断した。

国家試験の合格率は常に全国平均を上回っている。それは、一学年定員120名という多人数の学生への教職員の関りの濃密さがうかがえる。称賛に値すると考える。

最近、とみに増えてきているのが学生のメンタルサポートである。当校は、それに対する対応としてカウンセラーを二人制にし、課題を抱えた学生対応が柔軟にできるよう配慮しているが、コロナ禍の影響を受け、リアルタイムでの面談ができないとの課題を残している。メンタルサポートの効果的なあり方を工夫する必要がある。

#### 5. 学生支援・学生指導

○学生の経済的支援体制は、事務部に担当者が置かれ、学生のニーズに即、対応ができるようにしている。又、学生の健康管理、正課外活動、生活環境への支援に対してもコロナ禍の影響は大きく、特に健康管理においては新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底している。これまで、一人の感染者も出すことなく年度末を迎えたことは評価してもよい。

キャリア教育や職業教育については、看護師養成所であることを踏まえ、一部の教科目の内容として行ったり、特別講義等で実施されているが、看護学への学生の学習意欲を高めるためにもより一層の充実したキャリア教育・職業教育がカリキュラムの中に位置づけられて実施されることを期待する。

#### 6. 教育環境・法令遵守

○教育環境の整備については、当初予算で計画していることについては、順調に整えられている。特に2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、Wi-Fi環境を充実させたりシミュレーション実習が可能なように2階フロアを病棟仕立てにする等、教育が滞ることがないようにしている。又、放送大学との連携によるダブルスクールも途切れることなく、順調に経過している。

○法令遵守に関しては、これまでと同様、専修学校としては「専修学校設置基準」、看護師養成所としては「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」を踏まえている。

また、個人情報の保護については、毎年専門家の特別講義を計画し、学生及び教職員共に意識化を図っている。

#### 7. 学生受け入れ募集・社会貢献・地域貢献・特別活動等

○学生の受け入れ募集に関することで従来、行っているオープンキャンパス、県内高校へのパンフレット配布及び進路指導担当教諭への情報提供は、2020年度、コロナ禍で、対面で行うことはできなかった。しかし、ICTを活用し、在学生による学校紹介の動画作成やZOOM機能でのオンライン進路説明会の開催等、学校としては努力をしている。

しかし、看護学校の魅力を発信する新たな取り組みも検討する必要があると思う。体験型の学校案内は、時間・対応する人(教職員)に限度があると思うが、看護のイメージ化を図るには効果的だと考える。

○社会貢献・地域貢献としてのボランティア活動の推進は、学生にとって正課で学ぶ以上の学びがあると思う。しかし、2020年度はコロナ禍で地域貢献としてのボランティア活動はほとんどできていない。今後に向けては、地域を視野に入れての教育実践を考えるのであれば、地域貢献・社会貢献は確実な実施に向けての検討が必要であろう。

#### 8. 国際交流

○看護師養成所における留学生の受け入れは、法的な縛りが緩くなったとはいえ、養成所の現状から受け入れは厳しいと思われる。しかし、国が推し進めている外国人の異動に関する政策は、医療の現場にもあることから、視点を変えた取り組みが必要と思われる。

現在、学校で取り組んでいる、近隣の国際交流機関を活用しての教育活動はそれに価値すると思われることから今後も継続していただきたい。

以上